

石川工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 I I	
科目基礎情報							
科目番号	20012			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	『論理国語』（大修館書店）『文学国語』（大修館書店）『精選古典探求』（大修館書店）『新版 品詞別 頻出漢字マスター3000』（尚文出版・1年次より継続）『カラー版新国語便覧』（第一学習社・1年次より継続）						
担当教員	高島 要						
到達目標							
1、現代の小説・詩歌・評論を論理的に読解し、鑑賞することができる。 2、古文を読解し、口語訳・鑑賞することができる。 3、漢文を読解し、書き下し・口語訳・鑑賞することができる。 4、基本的な日本語運用能力（常用漢字等）を習得し、活用できる。 5、各種情報を活用しつつ、感想文・随筆・意見文などの文章を作成できる。またこれに基づき口頭発表ができ、他者の発表を聴講して自分の意見が形成できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1,4		現代の文章を論理的に読解し、深く鑑賞できる。また討議なども踏まえ、それについての意見・感想を形成できる。		現代の文章の主旨を概ね理解・鑑賞でき、意見交換なども通じて考えをまとめることができる。		文意の理解が十分でなく、それに関する対話などを通して自分の考えを深めることができない。	
評価項目4,5		基本的な常用漢字を習得して運用でき、各種情報を踏まえて自分の意見を展開し、文章化できる。またこれに基づき効果的に口頭発表ができ、他者の発表を聴講して自分の意見が形成できる。		日常的に使用する漢字をほぼ習得して運用でき、具体的根拠に基づいて考えをまとめ、文章化できる。またこれに基づき口頭発表でき、他人の発表を正確に聴講できる。		日常的に使用する漢字の修復が不十分で、客観性を持つ形で自分の考えをまとめることができない。また口頭発表も効果が不十分で、他者の発表の聞き取りも正確にできない。	
評価項目2,3		古文・漢文の高度な知識を理解した上で、古典に親しみ、その意義を理解できる。		古典についての知識を習得し、これを鑑賞できる。		古典についての知識が不足し、充分意味を把握できない。	
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 4							
教育方法等							
概要	現代文の評論・小説・詩の論理的読解と鑑賞、古文・漢文の読解と文学史的理解の実践を通じ、自分の考えを正しく表現し公正に意見を交換できるための教養を習得する。また社会生活の基礎となる読み書き能力を養成し、技術者として必要な基礎学力を習得する。						
授業の進め方・方法	漢字小テストを課す。その他授業理解を助けるために課題を適宜出すことがある。 MCC対応：Ⅲ－A 国語、Ⅶ汎用的技能、Ⅷ態度・志向性（人間力）、Ⅸ総合的な学修経験と創造的思考力						
注意点	作品に対して、主体的に興味・関心を持つことが大切である。国語辞典・古語辞典・漢和辞典を積極的に活用して、基礎的な知識の定着をはかること。適宜、小テストを実施するため、日頃の学習を大切にすること。 （評価方法・評価基準） 前期末：前期中間試験（40％）、前期末試験（40％）、小テスト（20％） 学年末：前期中間試験（20％）、前期末試験（20％）、後期中間試験（20％）、学年末試験（20％）、小テスト・レポート（20％） 前期中間試験、前期末試験、後期中間試験、学年末試験を実施する。成績の評価基準として50点以上を合格とする。						
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	「古典と現代」（1）		文字・ことばを中心に、古典と現代のそれぞれの国語の特色を理解し、流れを説明できる。		
		2週	ミロのビーナス（評論1）		キーワード、キーセンテンスを指摘し文章の構造を把握できる。難解な語句を説明できる。		
		3週	ミロのビーナス（評論1）		文章全体の展開を正確に追い、主題について理解・説明できる。		
		4週	十訓抄・大江山いくのの道（古文1）		古典文法や和歌の修辞について理解し、これに基づいて古文を口語訳できる。		
		5週	十訓抄・大江山いくのの道（古文1）		説話文学の内容を理解し、作品の面白さを説明できる。		
		6週	故事・逸話（漢文1）		漢文の句法を理解して書き下し文を作成し、口語訳をし、また訓点を施すことができる。		
		7週	故事・逸話（漢文1）		漢文作品の内容を理解・鑑賞し、説明できる。		
		8週	山月記（小説1）		難解な語句の意味を正確に把握し、小説の内容を理解・説明できる。		
	2ndQ	9週	山月記（小説1）		登場人物の心理と行動について理解し、説明できる。		
		10週	山月記（小説1）		漢文訓読調の文体の効果と象徴的表現について理解し、作品を鑑賞・説明できる。		
		11週	伊勢物語 初冠（古文2）		「歌物語」について理解し、古文を正確に口語訳し、内容について説明できる。		
		12週	源氏物語 桐壺巻（古文3）		「作り物語」について理解し、源氏物語の文学史的 위치を理解し、説明できる。		

後期		13週	源氏物語 桐壺巻（古文３）	文法的知識を踏まえて古文を正確に口語訳し、内容について説明できる。
		14週	源氏物語 桐壺巻（古文３）	文法的知識を踏まえて古文を正確に口語訳し、内容について説明できる。
		15週	前期復習	
		16週		
	3rdQ	1週	古典と現代（２）	文学史的観点から、古典と近・現代の文学の、それぞれの特徴を理解し説明できる。
		2週	更級日記・源氏の五十余巻（古文４）	女流日記について理解し、古文を口語訳し、内容について説明できる。
		3週	更級日記・源氏の五十余巻（古文４）	女流日記を通して、王朝物語の意義について理解し説明できる。
		4週	旅する本（小説２）	登場人物の描写を的確に捉え説明することができる。
		5週	旅する本（小説２）	語り手の役割を理解し、説明することができる。
		6週	余白の美学（評論２）	具体例の果たす役割を理解し、その意図を読み取り説明することができる。
		7週	余白の美学（評論２）	「美」について筆者の主張を理解し、説明できる。
		8週	現代日本の開化（講演録）	国際化の中での文化の多様性について、筆者の意見を的確にとらえることができる。
	4thQ	9週	私の日本住居論（評論３）	文章中の具体的な物事をあらかず言葉や、文学史の人物について理解し、説明できる。
		10週	私の日本住居論（評論３）	具体例が意味する事象を理解し、説明することができる。
		11週	私の日本住居論（評論３）	日本の美学や文化の価値について明らかになったことを理解し、説明できる。
		12週	漢詩 王維・李白・杜甫（漢文２）	漢詩の形式と表現を理解し、唐代詩を訓読し口語訳できる。
		13週	漢詩 菅原道真・広瀬淡窓（漢文２）	日本漢詩を訓読し口語訳できる。併せて詩人の事蹟を説明できる。
		14週	桃花源記（漢文３）	文章の句法を理解し、書き下し文を作成、口語訳ができる。併せて陶潜の事蹟を説明できる。
		15週	後期復習	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	2	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	2	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
			社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	2	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
			他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
			日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
			他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
			合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
			グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
			書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	2	
			収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	2	
			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	2	
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	2	
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	2	

				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	2	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	2	
				目標の実現に向けて計画ができる。	2	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	2	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	2	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	2	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	2	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	2	
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	2	
				経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	2	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性			
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力			

評価割合					
	試験	小テスト・レポート		合計	
総合評価割合	80	20	0	100	
基礎的能力	80	20	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	